

平成17年度大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会

第3回森林生態系部会

議事概要

◆日 時 平成18年3月9日(木) 15:30~17:30

◆場 所 春日野荘 故傍の間

◆出席者

<委員等>

井上 龍一	奈良教育大学附属小学校 教諭
木佐貫 博光	三重大学 助教授
小船 武司	日本野鳥の会奈良支部 支部長(ご欠席)
佐久間 大輔	大阪市立自然史博物館 学芸員
高田 研一	高田森林緑地研究所 所長
野間 直彦	滋賀県立大学 講師
日野 輝明	独立行政法人森林総合研究所関西支所野生鳥獣類管理チーム長
日比 伸子	樫原市昆虫館 学芸員
前田 喜四雄	奈良教育大学教育学部附属自然環境教育センター 教授
村上 興正	元京都大学 講師
横田 岳人	龍谷大学 講師

<関係機関>

林野庁近畿中国森林管理局計画部計画課	上村 邦雄 森林施業調整官
同 指導普及課	鳥谷 和彦 技術開発主任官
奈良県農林部森林保全課	杉本 和也 調整員
上北山村地域振興課	小坂 哲 主幹
吉野きたやま森林組合上北山支所	下吉 博之 技師

(以上敬称略)

<事務局>

近畿地方環境事務所	小沢 晴司 統括自然保護企画官
	徳田 裕之 野生生物課長
	石川 拓哉 国立公園・保全整備課
	福原 裕 II
吉野自然保護官事務所	熊代 哲 自然保護官
(財) 自然環境研究センター	岸本 年郎 研究員

◆議 事

- (1) 平成17年度調査・事業のとりまとめについて
- (2) 次年度の調査・事業内容について

◆議事概要

- 資料に基づき「平成17年度調査・事業のとりまとめ」及び「次年度の調査・事業内容（案）」について事務局より説明。
- 委員及び関係機関からの主な意見等

(植物調査について)

- ・ 実生育基質調査については、倒木・根株上に生育している苔自体がどのような生育環境を好むのかを把握するとともに、今後の方向性を明確にする必要がある。
- ・ モニタリング調査及び実証実験による結果をどう評価し次の段階に進めていくか等、評価手法や今後の方向性等について、次年度から検討を始める必要がある。
- ・ 各調査期間は5年になっているが、中間段階（3年程度）である程度の方向性が出そうな項目については、今後の方向性について検討を始める必要がある。
- ・ 評価手法や今後の方向性等の検討については、WG等を数回開催して詳細に議論する必要がある。
- ・ [事務局] 今後の方向性等の検討については、次年度からWGや勉強会等、議論できる場を極力設けるようにしていきたい。

(動物調査について)

- ・ 昆虫調査については、さらにデータを蓄積して解析を進める必要がある。
- ・ 大型土壌動物調査については、針葉樹林と広葉樹林でA層・A₀層に違いがあるため、結果はそれぞれ分けて整理する必要があるのではないか。
- ・ [事務局] 試験的に分けて整理した結果をWG等で提示するので、その際にご意見をいただきたい。
- ・ 調査結果については、サンプリング箇所の植生等と連携させて整理する必要がある。
- ・ 調査手法やデータの重ね合わせ等について、WG等を開催して議論する必要がある。
- ・ オオダイガハラサンショウウオは、他の奈良県産地よりも多くの繁殖が確認された。

(GIS整備について)

- ・ 集水域や滞留状況等、水分布を把握できるような情報を整備していただきたい。
- ・ 水質についても生物の分布を把握する上で重要な指標となる。
- ・ 今回収集したデータは非常に有用であるため、今後、どのような解析が必要であるかについて、WG等を開催して整理する必要がある。
- ・ 落葉期について雪の影響はないか。
- ・ [事務局] 箇所によっては数cmの積雪は見られるものの、誤差±15cm程度で成果を作成し

ているため、精度上の問題はない。

(区域保護対策・単木保護対策について)

- ・ 柵内のミヤコザサやスズタケが繁茂しすぎることで、実生の生育が妨げられることがあるため、シカが適度にササを食べることによって、森林更新に役立つという視点も重要である。
- ・ そのような視点はシカの生息密度に依存するため、どの程度であれば有効かということについての検討が必要である。
- ・ 防鹿柵の設置に関する全体方針等については、次年度から WG 等を開催して検討する必要がある。
- ・ パッチディフェンス柵については、他地域における設置実績を有しているので、設置の際にはそれらを参考にしてほしい。
- ・ パッチディフェンス柵のサイズやモニタリング調査項目等については、WG 等を開催して検討する必要がある。
- ・ パッチディフェンス柵は試験的な設置であるため、その目的を明確にしておく必要がある。
- ・ [事務局] 防鹿柵の設置にあたっては、設置箇所、規模及びモニタリング項目等について検討していただく WG 等を開催する。

[文責：近畿地方環境事務所]